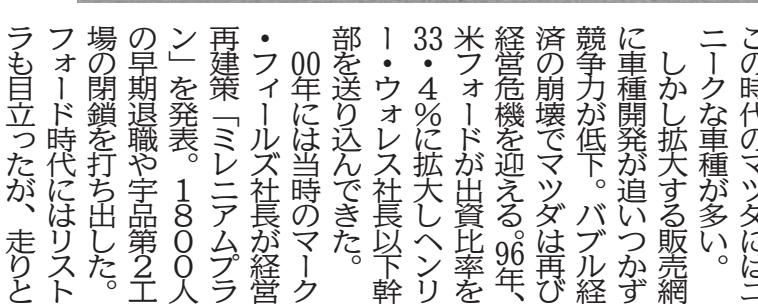


# マツダ 100周年特集 走る歓びを創造する

マツダ 100年のあゆみ	
1920年代	20年 1月 東洋クロク工業設立。社長海塚新八氏 21年 3月 松田重次郎氏社長就任 25年 12月 本社工場で大規模火災
27年 9月 東洋工業に社名変更	
1930年代	31年 5月 本社を広島県府中村の現在地に移転 31年 10月 初のオート3輪(DA型)発売
1940年代	41年 4月 小鉄工場が完成し量産開始 44年 7月 クロク部門を分社化し壳却 45年 8月 原爆で被災 45年 12月 オート3輪の生産再開
1950年代	51年 12月 松田恒次氏社長就任 58年 5月 本社4輪・ラック工場稼働
1960年代	60年 5月 本社「F工場」稼働、初の乗用車「R360クーペ」発売 61年 2月 西独NSUとロータリーエンジンで技術提携 63年 4月 ロータリーエンジン研究部設置 64年 10月 初代「ファミリアセダン800」発売 65年 5月 三次目車試験場完成 66年 8月 初代「ルーチェ」発売 66年 11月 宇品東用車工場(U1)稼働 67年 5月 初のロータリーエンジン搭載車「コスモスポーツ」発売 69年 9月 宇品大型車工場(U3)稼働
1970年代	70年 5月 初代「カペリ」発売 70年 11月 松田恒次社長死去、後任に長男の耕平氏 71年 9月 初代「サバンナ」発売 72年 12月 宇品第2工場(U2)稼働 75年 1月 社員の販売出店「AM作戦」開始 77年 12月 松田耕平社長退任、後任に山崎芳樹氏 78年 3月 初代「サバンナRX-7」発売 79年 11月 米フォードが25%の株式を取得し資本提携
1980年代	80年 6月 5代目「ファミリア」発売(大ヒット) 81年 12月 防府中間工場(変速機工場)稼働 82年 9月 防府西浦工場(4T)稼働、4代目「カペリ」発売 83年 9月 韓国起亜産業(現起亜自動車)に8%出資 84年 5月 「マツダ」に社名変更 84年 11月 山本健一氏社長就任 87年 9月 ミシガン州の乗用車工場稼働 87年 12月 古田徳昌氏社長就任 89年 2月 工作機械事業をトヨエイテック、さく岩機事業をマツダアステックして分社化 89年 4月 国内販売チャネル化 89年 9月 初代「ユーノスロードスター」発売
1990年代	91年 10月 初代「ユーノス」発売 91年 12月 和田源弘氏社長就任 92年 2月 防府第2工場(H2)稼働 96年 5月 フォードが追加出資し33.4%の株式取得 96年 6月 ヘンリー・ウォレス氏社長就任 96年 8月 初代「デミオ」発売 97年 11月 ジェームス・スター社長就任 98年 7月 フォードと共同出資のタイ工場稼働 99年 12月 マーク・フィールズ氏社長就任
2000年代	00年 11月 経営合理化ミニマムプラン」発表 01年 3月 2210人が早期退職 01年 9月 宇品第2工場操業停止 02年 5月 初代「アテンザ」発売 02年 6月 ルイス・ブース氏社長就任 03年 8月 井巻久一氏社長就任 03年 10月 初代「アセラ」発売 04年 5月 宇品第2工場操業再開 07年 4月 中国・南京の合弁工場(車両、エンジン)が稼働 08年 11月 山内孝氏社長就任
2010年代	10年 3月 トヨタからハイブリッドシステムの技術供与を受けることで合意 10年 11月 フォードがマツダ車の一部を売却し筆頭株主ではなくなる 12年 2月 中期経営計画「構造改革プラン」 12年 2月 初代「CX-5」発売 12年 3月 公募増資と借り入れで2142億円を調達 12年 6月 ロータリーエンジン搭載車(RX-8)の生産終了 13年 6月 小飼雅道氏社長就任 14年 1月 メキシコ工場が稼働 15年 1月 タイの変速機工場が稼働 15年 9月 フォードがマツダ車をすべて売却 17年 8月 トヨタ自動車と資本業務提携 18年 6月 丸本氏社長就任 19年 5月 新型アクセラを「マツダ3」と改称し発売 19年 12月 新燃焼方式のガソリンエンジン「スカイアクティブ」搭載車発売



●歴代のロータリーエンジン(マツダミュージアム) ⑥初の乗用車「R360クーペ」



5代目「ファミリア」、経営危機を救った80年当時のベストセラー車

後、経営が傾いていた東洋の生産を再びコルク工業の立て直しに請われて社長に就いた。技術としての経験を築いた。

創業当時の社名「東洋」から分かるとおり、当初はコルクメを生かして機械分野への腕を磨き、松田製作所型」の発売にこぎ着けた。45年8月、広島への原爆投下という未曾有の悲劇を経て、同年12月には乗用車に進出

後、経営が傾いていた東洋の生産を再びコルク工業の立て直しに請われて社長に就いた。技術としての経験を築いた。

松田恒次郎は、生産のため請われて社長に就いた。技術としての経験を築いた。

## マツダ 100年のあゆみ

マツダは1月30日に会社創立100周年を迎える。戦前はコルク製品の製造からスタートし、さく岩機やオート3輪に事業を拡大。戦後は4輪乗用車に進出しモータリゼーションの波に乗つて事業規模を広げた。ロータリーエンジンの開発や米フォード・モータースの資本提携、そして近年の内燃機関強化など、自動車メーカーとしての歩みには独特なものがある。

## フォード傘下

70年には自動車業界の流れの中で米フォード・モータースがマツダ株の25%を取得した。マツダの25%を取得した。

70年には自動車業界の流れの中で米フォード・モータースがマツダ株の25%を取得した。

70年には自動車業界の流れの中で米フォード・モータースがマツダ株の25%を取得した。